

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光等分野(3/4)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
奈良公園観光地域活性化総合特区 (奈良県)	3.3	2.5 進捗度 ・奈良市の観光入込客数の増加 66% ・奈良市の宿泊者数の増加 29% ・奈良市の観光消費額の増加 38%	3.8 地域独自の取組 ・創業支援資金 ・宿泊施設の新設、増設にかかる 税制優遇 等	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド客に代わる当面のターゲットとして、奈良市の価値が分かる方へ重点を置くなど再設定が求められるほか、アフターコロナを見据え、地域通訳案内士の具体的な活用方法について官民連携で検討していくことが望ましい。 ・今後都市間競争が激化する中、奈良公園のこれまでの歴史文化や自然を基盤としながらも、DX推進を見据えたデジタル技術を駆使した見せ方や楽しみ方、SDGsを意識した公園としてのブランドを打ち出すなど、次なるステップの機会と捉えるべき。 ・来訪者数に左右されない取り組みを高く評価する。改修など受け入れ整備に注力している点は今後、大きな成果に結びつくだろう。 ・資源の活用という面については、Wi-Fi整備やデジタルサイネージ、あるいはイベント開催など、抜本的に魅力を高め活用を促進するようなものとなっているとは言いがたく、資源維持を進めつつ、いかに新たな活用の方策を提示していくかは、もう一段階工夫が求められる。